

具体的な活動や体験を通して、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- 体験活動と表現活動とが繰り返されるように単元計画を構想し、「*1四つのプロセス」を基にして単元の学習を展開する。
*1四つのプロセス：「思いや願いをもつ」「活動や体験をする」「感じる・考える」「表現する・行なう（伝え合う・振り返る）」の生活科の学習過程
- 児童の思いや願いを大切に、活動や体験に没頭できるようにする。
- 見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を設定し、児童が具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるようにする。
- 活動や体験を通して気付いたことなどについて、言葉・絵・動作・劇などの多様な方法で表現して伝えたり、交流したり、振り返って捉え直したりする学習活動を設定する。
- 児童の発言やしぐさを、「*2四つの目」を重視して丁寧に見取ったり、問い掛けたり、共感したり、価値付けたりすることで児童の気付きの質が高まるようにする。また、ねらいを達成した具体的な児童の姿を想定して計画的に見取ることによって、児童の学習状況を把握し、学習と指導の改善を図る。
*2四つの目：「温かい目」「広い目」「長い目」「基本の目」の児童の姿を見取る基本姿勢

体験活動と表現活動が豊かに行き来する学習の例

小学校第2学年

単元名「どきどき わくわく まちたんけん」

◇単元の目標（一部）

地域の様々な場所を訪問する活動を通して、地域の身近な場所と自分との関わりを見付けている。

〔思考力、判断力、表現力等〕

◇主な学習活動（全10時間）

【第1時】まちのことを話そう

○身近な地域を振り返り、自分のお気に入りの場所や興味のある場所などについて話し合う。

【第2～4時】たんけんの計画を立てよう

○探検に行きたい場所について話し合い、行き先ごとのグループをつくり、探検の計画を立てる。

【第5～7時】まちをたんけんしよう

○グループごとに探検に行く。

【第8～10時】見付けたことを伝えよう

○探検で見付けたことを記録カードや絵地図にまとめ、気付いたこと発表する。

単元における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

<個別最適な学び>

指導の個別化

行ってみたい場所や、見てみたいものを思い描きながら、自分や友達の興味・関心に応じて、探検する場所をよく調べて考えたり、行く順番を変えたりして探検の計画を立てる。

学習の個性化

これまでの生活経験や生活科の学習で調べたことなどを基に、身近な地域の中で探検する行き先を決める。

<協働的な学び>

探検で見付けたことや分かったことについて交流し、身近な地域には様々な場所があり、その場所やそこにいる人が自分と関わっていることを紹介し合うことで新たな気付きにつなげ、質を高める。

◇本時のねらい（2～4/10）

行ってみたい場所や見てみたいものを思い描きながら、探検の計画を立てることができる。



◇学習活動

第2時

・自分が探検に行く場所を考える。その後、行きたい場所について友達と話し合い、探検先ごとのグループをつくる。



第3時

・探検先のグループごとに探検の計画を立て、計画表を作成する（探検に行く順番や役割、通る道、持ち物など）。

第4時

・探検の計画を確認し、探検に出掛ける準備をする。



<個別最適な学び>

・探検について、自分の思いや興味・関心に応じて行きたい場所を考えさせます。必要な情報を得るために、1人1台端末を活用し、学習支援ソフトでリンクを示しながら、地域の情報を収集させることもできます。**ICT②**
・探検先を考えさせる場面では、「なぜそこに行きたいのか」について理由を問い返したり、「そこでどのようなことをしたいのか」を考えさせたりします。気付きが広がり、思いが高まることで、主体的な活動につながります。**②⑤**

<協働的な学び>

・友達と協力して計画を立てさせる中で、お互いの考えを共有させ、更なる気付きを促します。効果的に気付きを引き出すために、児童が多様な気付きを表現する姿を十分に想定しておくことが大切です。**②③⑤**

<個別最適な学び>

・探検の様子を写真で記録したり、インタビューを動画で撮影したりすることを計画に取り入れることは、個々の振り返りを充実させたり、人との関わりを意識させたりする上で有効です。**ICT③⑤**

◇評価規準

探検で行ってみたい場所や見てみたいものなどを思い描きながら、自分や友達の行きたい場所や時間に応じて、探検する場所をよく調べて考えたり、順番を変えたりして、探検の計画を立てている。

【思考・判断・表現】（発言、ワークシート）